

# 観光振興セミナー2024

## オープン・ラボ Online

～観光の新たなカチ・カタチ～

旅と学びで新たな需要を生み出す  
ラーニングツーリズムの現状と展望

2024年6月13日（木）

株式会社リクルート じゃらんリサーチセンター

研究員 池内 摩耶



▲本講演資料はこちらのQR  
コードからDLいただけます



じゃらんリサーチセンター 研究員  
池内 摩耶 (いけうちまや)

兵庫県出身、神戸市在住

**2007年 株式会社リクルート入社**

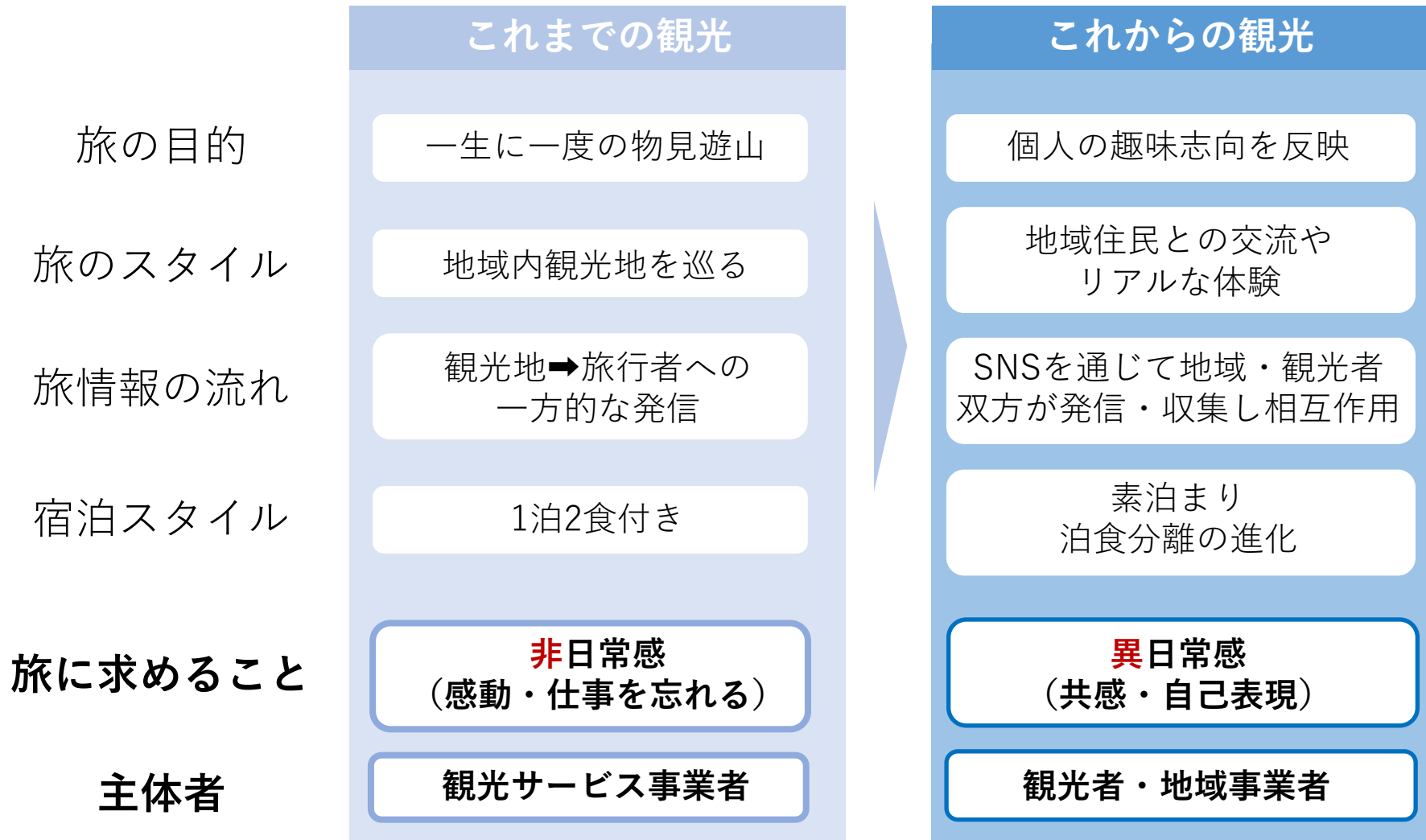
進学領域にて、学生募集広報営業、商品企画、事業企画を担当。

**2015年 リクルート進学総研 研究員**

主に高校生の進学観・価値観やマーケットデータリサーチの設計および分析を担当。担当研究に「高校生価値意識調査」「進学ブランド力調査」「進学センサス」等。

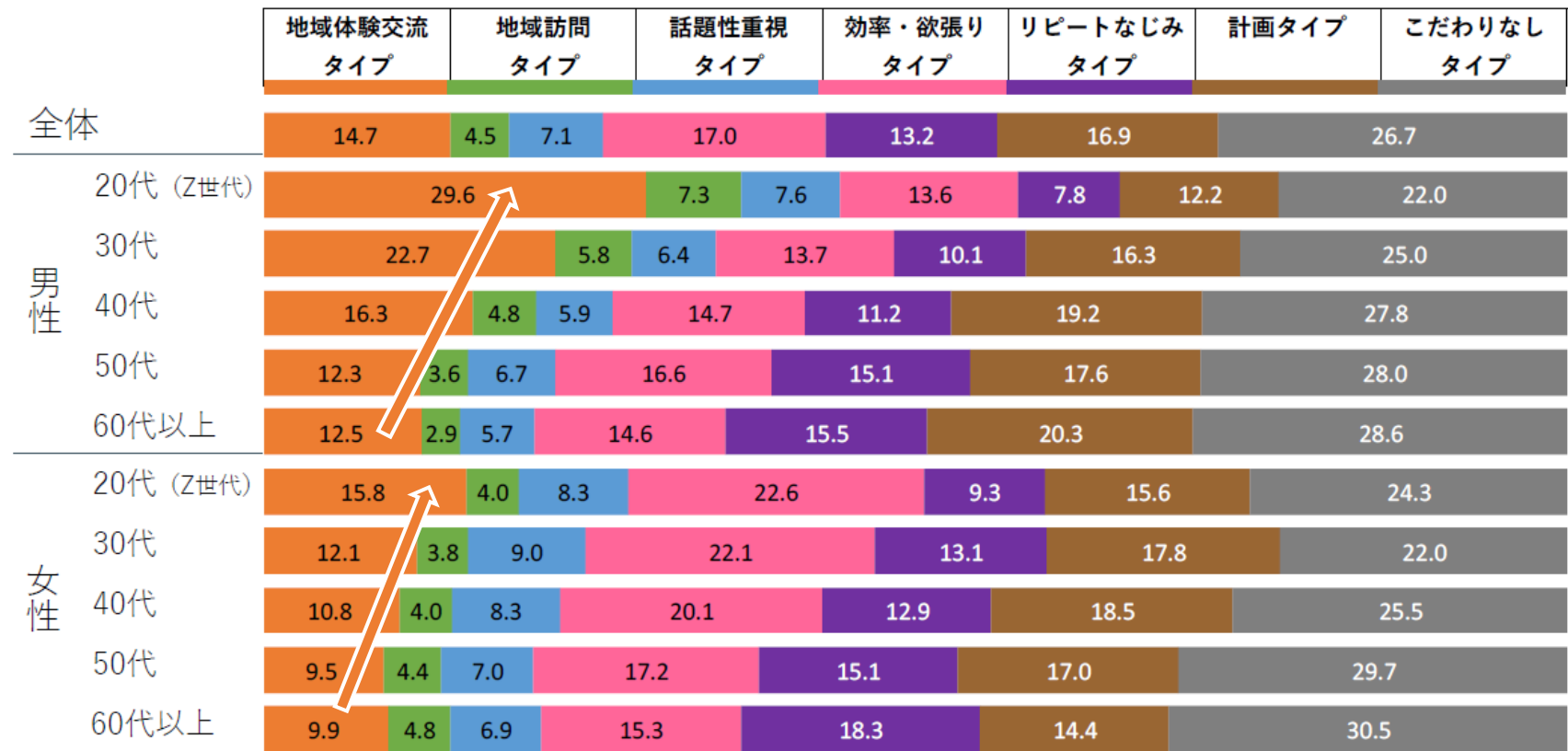
**2023年4月 JRC研究員に着任**

地域愛に注目した研究やまなび領域で若年層について研究してきた知見も生かし「ラーニングツーリズム（旅と学び）に関する研究」「若年層の旅行スタイル」等を担当。



地域との関わりを求める「地域体験交流タイプ」は若い世代でより高い出現比率

●宿泊旅行に対する意識 クラスター構成2023（性年代別）



出典：リクルート「じゃらん宿泊旅行調査2023」

社会が早いスピードで多様化・複雑化する今日、学ぶこと、  
学び続けることへの関心がかつてないほどに高まっている

## 探究型修学旅行 ラーケーション (\*1)

農山漁村滞在型旅行 (農泊)

体験型教育旅行

地域留学・保育園留学

旅育

個別最適・協働的な学び

越境学習

SDG s 教育・環境教育

リスクリング

スマートラーニング

探究学習

リカレント教育

「旅」は身近な存在でありながらさまざまな学問領域に  
またがっており、学びの場として注目されている

\*1) 学び (ラーニング) と休暇 (バケーション) を組み合わせた造語



## ラーニングツーリズム



### 教育旅行

修学旅行、語学留学など  
学生の学術的な知識を深  
めることを目的とする

探究型修学旅行  
体験型教育旅行



### 体験型旅行

地域の文化や歴史体験など  
個人の興味や好奇心に基  
づいた体験的な学びも促進す  
ることを目的とする

農泊 旅育  
ラーケーション



### 企業研修旅行

視察やリーダー研修など  
企業が社員のスキル向上  
やチームビルディングや  
情報収集を目的とする

越境学習

## ラーニングツーリズム



### 教育旅行

参加対象  
(来訪者)

学校／団体

実施主体

教育機関  
行政機関



### 体験型旅行

個人

地域事業者  
専門旅行会社



### 企業研修旅行

企業／団体

企業

受入先

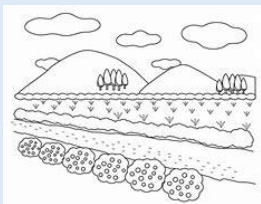
地域事業者・地域住民



地域が主体となってラーニングツーリズムを推進する  
**地域にとっての意義・価値・メリット**を明らかにする

## 地域

(住民・行政・DMO・企業)



自分たちが伝えたい魅力は？  
地域が観光者に地域とつながる  
深い学びとは？

### 【地域メリット】

- ・地域住民の愛着、誇り醸成？
- ・新たな産業の発見・創出？
- ・交流/関係人口の創出？

## ラーニング



## 観光者



地域の特性を生かしたユニークな体験を通して共感し地域と深いつながりを感じたい。

### 【観光者メリット】

- ・地域との協働的な学び
- ・新たな気付き
- ・自分の人生の豊かさ
- ・地域との深いつながり



“ラーニング”するほどの観光資源がない、地域住民の理解を得るのが難しい、準備大変、もうかりづらい、プログラム企画できる人材がない。それでもやる意味は？



学びが生まれる  
地域資源の不足  
資源がない



地域住民の協力と  
エンゲージメント



継続するための  
収益性確保

人材不足

持続可能性と環境への配慮

インフラ整備

# ラーニングツーリズム事例① 南丹市美山観光まちづくり協会（美山DMO）



第2のふるさとづくりプロジェクト2022,2023採択

## 「地域に通う、心が通う、課題解決型 ラーニングツーリズム」

### 取り組み キッカケ

#### 意思決定できる 地域でありたい

地域住民が主体となり、地域の未来を意思決定できる内発的地域でありたいが根幹。カンフル剂的な取り組みは地域に何も残らない。

### 地域住民の変容

### 美山DMOにとって ラーニングとは？

#### 来訪者は まちづくりの協力者（準住民）

地域維持を地域住民のみで解決するのではなく、来訪者の力も借りながら行うという新たな考え方もたらされ、再来訪意欲に繋がる。

- 地域課題に地道に向き合い、自然とある暮らしや産業について“教える”ではなく、“共有・共感したい”が主語に変化
- 住民自身もラーニングに動き出す（英語習得など）

### 収益性

#### 教育旅行のナレッジ展開で 収益性を高める

実証実験で得た知見をtoCに展開することで、今後さらに収益性を高めていく。教育旅行は収入の柱としてインバウンド受け入れも拡大。



## 「地域の多様な魅力をありのまま体験 おもてなしをしない農泊旅」

### 取り組み キッカケ

#### 行政からの要望・ 学習指導要領の見直し

観光立県として観光文脈での地域振興につなげるため、学習指導要領の見直しを読み解き、2001年～農泊など「体験型教育旅行」提供。

### 地域住民の変容

### 南信州観光公社にとって ラーニングとは？

#### おもてなしをしない ホンモノの体験

地域の人から「してあげる」ことはせず、普段通りの生活のママ迎えてもらうことが鉄則。迎える側と訪ねる側が交流し高め合うもの。

- 住民自ら、農泊反省会を実施しプログラムを磨き続けている
- おもてなしをしないありのままの生活や地域に自信を持ち、地域住民から新しいプログラム提案が出てくるように

### 収益性

#### 農家の閑散期の 臨時収入源として定着

300軒の農家が協力し、年間12校前後を受け入れ。プログラム内容に応じて価格設定。安定収益源として教育旅行を優先誘致し採算性確保。



## 「産廃企業が地域と共に考える サステナブル環境教育プログラム」

### 取り組み キッカケ

#### 廃棄物の再資源化に取り組む 地域の企業使命

長年、近隣の里山への不法投棄が地域課題だった三芳町。かつての里山の姿を取り戻し、豊かな自然を守り、次世代に伝えていくためにスタート。

### 社員の变容



環境教育担当  
高継エミリーさん

### 石坂産業にとって ラーニングとは？

#### 社員が自分たちの価値に 気づき、士気が高まる

社員がアタリマエと思っていたことが、来訪者によって意味付けられることで、地域・企業価値が顕在化し社員のメタ認知が高まる。

施設内では自然と美しく生きるための「循環」に触れる体験や仕掛けがたくさんあります。毎日見学のご案内をする中で来場者の心が動く瞬間を見ることが私の働きがいです。今後は「感動」で終わらせない循環デザイナーとして取り組みの一步をサポートすることが私の夢です。

### 収益性

#### 社員が意味付けられる コト消費体験を提供することがカギ

年間6万人が来村（うち9割は一般）。コト体験に値付けする心理的ハードルを越え、多様な環境教育プログラムを開発。予約率も向上し安定収益構造化。

# 愛知県ラーケーションの日

『学習（ラーニング）』と『休暇（バケーション）』を組み合わせた造語



## 観光振興セミナー2024

「平日に子どもと親と一緒に体験や探究の学びを自ら考え、企画・実行する旅」



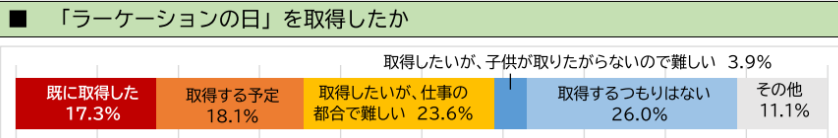
### 取り組み目的

#### 愛知県「休み方改革」プロジェクトの一環

保護者の3-4割が週末に働いており、子どもと一緒に過ごすことが難しい家庭でも、平日と一緒に学び、活動できるよう設定。観光需要の増加や平準化につなげたい狙いもある。

### 制度利用者の声

※導入する自治体がじわりと増えつつある  
2023年～愛知県、大分県別府市  
2024年～茨城県、栃木県日光市、沖縄県座間味村



#### ポジティブな声

- 子どものやりたいことや行きたい場所について、普段とは違う会話ができて新しいことに挑戦するきっかけになった。
- ワークライフバランスが見直される中、義務教育も変わるの自然なことなので、愛知県にはがんばってほしい。

#### 心配の声

- 学習の進度が心配で、平日に休ませるのは不安。
- 取ったことで、友達の中で浮いてしまわないか心配。

出典：愛知県「ラーケーションの日」アンケート調査



## 南丹市美山観光まちづくり協会



来訪者と地域住民で守り育てる地域へ

### ▶ ポイント

- ①旅マエ→旅ナカ→旅アトそれぞれで学びを深めるプログラムを実施
- ②地域への「関わりしろ」や地域住民との偶発的な出会いを創出するコンテンツ提供
- ③地域住民との緩やかな交流／意見交換



茅葺の屋根保全のための  
茅刈作業



地域内の行事に来訪者が  
参加できるようアレンジ



持続可能な自給自足の  
モデルを学ぶ

## 石坂産業～三富今昔村～



自然と文化と人々を、ふたたびつなぐ。

### ▶ ポイント

- ①企業ビジョンZero Waste Designが根幹
- ②地域・企業コアが伝わるプログラム提供
- ③参加者・地域との緩やかな交流／意見交換



循環デザインプログラム



里山野草「ドクダミ」を  
つかって草木染め

地域外のパートナーと継続的な共同関係を築けるかも重要だが、  
**地域住民が地域のアイデンティティを十分理解していることが起点。**





地域が主体となってラーニングツーリズムを推進する  
**地域にとっての意義・価値・メリット**として以下の可能性が見えてきた。

- 1 地域事業者のインターナルマーケティングの一環となる
- 2 内発的発展の地域振興の手段として使うことで、  
本当に地域が守りたい地域資源が見える化する
- 3 地域の独自性を探究することで、将来にわたって質の高い満足度  
を得られる持続可能な取り組みや新たな産業・収入源になる

ラーニングツーリズムとは  
「**“その地域でしか得られない学び”**を通して、  
**地域住民・観光者双方が学び合う旅**」

今後は「学び満足度」の形成因子や  
地域愛との関係性などについて検証していきたい。

# 観光振興セミナー 2024

## オープン・ラボ Online

～観光の新たなカチ・カタチ～

ご視聴いただきありがとうございました

本講演内容に関するお問い合わせは  
研究員 池内 摩耶に  
お尋ねください

株式会社 リクルート  
じゃらんリサーチセンター  
[jalan\\_rc@r.recruit.co.jp](mailto:jalan_rc@r.recruit.co.jp)



▲本講演資料はこちらのQR  
コードからDLいただけます

【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

- 本資料は、株式会社リクルート（じゃらんリサーチセンター）の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。

事前に当社までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮頂く場合もございます、予めご了承ください。

※問い合わせ先

[メディア・報道機関の皆様]株式会社リクルート 広報担当 <https://www.recruit.co.jp/support/form/>

[その他企業・自治体・一般の皆様]じゃらんリサーチセンター事務局 E-mail: [jalan\\_rc@r.recruit.co.jp](mailto:jalan_rc@r.recruit.co.jp)

- 本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客様の判断で利用してください。
- また、資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。